

亜鉛過剰

症状の特徴

- 1) 中～新葉の葉身が淡色化するとともに、葉身基部から葉脈が滲むように赤紫色化する(写真34)。
- 2) 変色は葉身全体の葉脈に広がり、その後、内側への巻き込み症状も現れる(写真35)。
- 3) 新葉の生育が抑制され、しおれるように葉柄が下垂する(写真36)。
- 4) 葉脈の赤紫色化症状は、カリウム欠乏と類似する。赤紫色化の症状は、カリウム欠乏では古葉に、亜鉛過剰では中～新葉に発生する。亜鉛過剰では新葉も淡色化することから判別可能である。

発生しやすい条件

- 1) 鉱山や工場の亜鉛を含む排水の影響を受けた土壌。



写真34 中～新葉の葉身基部が赤紫色に変色する。
(11週目 +Zn4週目 エッチエス-138)



写真35 葉脈の赤紫色化の拡大と葉身の内側への巻き上がり。
(12週目 +Zn5週目 エッチエス-138)



写真36 新葉の生育が抑制され、株全体の葉身がしおれるように下垂する。
(12週目 +Zn5週目 エッチエス-138)

亜鉛過剰の症状